

# 第18号

1990年6月26日発行  
 社会福祉法人 友愛会  
 大島保育所  
 大島福祉学園  
 友愛園  
 南川福祉学園  
 題字 理事長 角野元保

# 海清



(大島福祉学園)

## 私の好きなこと

- 私の好きなこと ねること
- 私の好きなこと 食べること
- 私の好きなこと
- 園外実習に行くこと
- 私の好きなこと
- 音楽を聞くこと
- 私の好きなこと
- 芸能人のウワサ話をする事
- 私の好きなこと
- いっぱいある
- まいにち
- 好きなことばかりしたい
- でも しごとしなくては…

辻本良子

(大島福祉学園)

# 人権尊重の立場で…

## 実践を通じた思い

それぞれの施設で、第一線で働いている中堅職員に、実践を通して体得した人権、障害者の理解などについて、レポートしてもらいました。

### 施設のくらしの工夫

指導課長 谷口新市



施設の社会化とは、入所者処遇の向上です。私たちは、施設環境を一般社会の人たちの生活環境や様式に近づくよう工夫をしなければならぬと思います。そのためには、施設整備もさることながら、私たちの考えねばならないのは、入所者のくらしの工夫だということです。

それは、衣・食・住についての取り組みといえます。施設のくらしのなかで注意しなければならないのは、現実を非難し理想ばかりをとらえてしまうことではないでしょうか。衣服のボタンがとれたまま、破れたまま、またズボンから服がはみだしたままとなっていないか。また食事においては、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくと適温食や、食べやすい場や雰囲気食堂になっているだろうか。居室においては、殺風景な状態や、家具などが壊れたままになっていないか。さいごに、言葉や態度においても気を配ることです。常に足元を見つめつつ、可能なところから、実現にむけて努力していかなければなりません。

### ことばの大切さ

寮母 高田ひとみ



私は障害者の方と接していく中で言葉について思い悩んでいることを考えてみました。言葉は気持ちを素直に伝えることができます。美しい言葉は日々生活の中で全うすることが難しく、時には汚れた言葉をかけてしまいます。私が障害者との会話の中で言葉の大切さを知ったのは、その人の生活様式、生まれ育った時代、物事に対する考え方の違いを感じた時でした。ある日「〇〇ちゃん」と何気なく呼んだ一言に「これでいいのかな」と感じました。子供に呼びかけるように呼んでしまった一言……。私の気持ちをどのように言葉で表現すればいいのか悩みました。相手を傷つけない言葉、また時には刺激を与える言葉。丁寧な言葉を使うことは必要ですが、私は障害者の方との会話の中で丁寧な言葉だけでは会話が続かない事を知りました。お互いの気持ちを理解しあうことから言葉が生まれてくるものだと思います。

### 生きることの大切さ

保母 紙本浩美



私は障害を持つ子供達と出会い、早14年目を迎えるようとしています。

その間いろいろな子どもたちと出会い、沢山の事を教えられ人間としての心、生きる事の大切さを教えられました。私は昨年のN君との出会いをきっかけに今まで以

上に人間として生きる事の大切さを感じました。N君は数えきれないくらいの問題行動をかかえ毎日が戦いででした。自分にも余裕なく叱る事ばかりで、その子の中を知るすべもありません。

でもゆとりをもち、マンツーマンで接する事で少しずつ変わってきたN君。問題行動を持つ子に対してただ力で押えたり、それを禁止

するだけでは何の解決にもなりません。その行動についてどうしてするのか、どんな時にするかを考え、時にはさせてやる事も大切だと思います。どんなに叱られても、笑顔を見せ、いっしょうけんめい自分の思いを伝えようとする姿を見ると思わず胸が熱くなり、自分がなさけなくなります。笑顔で明るく接し、少しでも子どもたちを明るく楽しくさせてやれば、すばらしいことだと思います。

## 人間っていいな

保母 岡 みち代



「児童は人として尊ばれる」「児童は社会の一員として重んぜられる」「児童はよい環境の中で育てられる」——児童憲章——

この短かいことばの中にも実に深い意味が込められているように思われます。今日、親もおとなも

自分の所有物として子どもを私物化しているようなところがありますが、子どもは親の子どもである以前に、親やおとなとは違った独立した人格と人権を持って生まれてきた、一人の人間なのです。私達も日々の保育の中でついつい「この子はこういう子である」という固定観念を持ってしまふことがあります。しかし、それ

はとても恐ろしい事であり、子どもの人権が子どもの知らないところで傷つけられている事になります。そして、その傷がその子どもの長い人生に陰を落とすとしたら私たちは慎重の上に慎重でなければなりません。今こそ、子どもに関わる全ての人たちが、もう一度児童憲章を読む必要があるのではないのでしょうか……。

## 介助者の心と態度

寮母 小原照美



私が障害者の方に出会って6年、私の気持が態度に現われ、心と態度のつながりを知りました。

ある日のことです。コールが鳴り、居室のカーテンをパッと開けて入る。

私…「誰ですか？なんですか？」

N…「テレビつけてほしいんや」

私…「テレビ、自分で頑張ってつけたら」

N…「できんのや」

私…「できんのやばっかり言うたらんとやってみな。みんな頑張って自分でできることは、やっているんだから…。」

私はこのような口調で立ったまま話している。いつの間にか、相手の気持を考えずに行動してしまったのです。ひとつの動作に心を持たず行動してしまうことが、相手を傷つけその人の気分を害してしまうものです。介助者の心と態度は、いつの時でもひとつでなければいけないと、私はこの頃痛感しております。

## 共に働く—信頼

生活指導員 大下良一



どんな重い人でも人間である限り働く願いを持ち、働く可態性を持っています。日々接して、個々の性格、障害状態も人それぞれ違うように、その人にあった指導方法、作業提供が必要です。言葉掛けだけで職員が指示しても、園生さんは動いてくれるものではありません。まず職員がやってみる、それによって園生さんも動き、共に汗して働く姿になり、信頼関係も生まれ指導にも生かされてくるようです。施設においても、ある程度の厳しさ、節度は必要であると思います。全般に健常者と比べると、意欲は劣っているようで、意図的に持つて行くことも必要です。できたときは、心から誉めてあげることが、自信へとつながります。それが作業意欲の向上、やる気へとつながり、各自の生きがいとなるのではないのでしょうか。

共に園生さんと働いて、楽しんでいける職員になりたいものです。

## 小学生との 交流を通じて

児童指導員 高鳥敏男



当園も開設以来、早10年を迎えました。この間、地域交流事業の一環として行われてきたものに、小浜小学校児童との頭巾山一泊キャンプがあります。

このキャンプは、障害児と健常児が共に野外生活を行うなかで、

お互いの自主性を養うと同時に障害に対しての理解を深めることを目的に行われてきました。回を重ねること9回、次第に理解の輪が広がってきつつあります。

キャンプ前の事前交流会では、一緒に手をつなぐのをためらったり、話をするのをおっくうがったりする光景が見られますが、それ

でもキャンプ本番には次第にうちとけあい、園児の手をとって誘導してくれたり、キャンプファイヤーでは一緒になって楽しく過している姿には感動させられます。

このような子どもたち同志の交流の場が、より地域全体に広がり、直接障害者と健常者がふれあうことが日常茶飯事になっていけば、障害児・者に対する真の理解につながるのではないのでしょうか。



# かわいいコックさん

## にぎやかレストラン

「いらっしゃいませ、いらっしゃいませ」と掛け声も大きくレストランごっこの開店。いつも遊んでいる遊戯室も今日（2月15日）はレストランに様変わりです。

今回は年長児が、中心になり大島福祉学園のおじさんやおばさんも招待して、にぎやかに行なわれました。開店するやいなや桃組や椿組や杷批組4才児の子どもたちもレストランへ食事に来てくれました。当レストランのメニューはお好み焼き、フランクフルト、焼きそば、ジュース、カレーライスおでんと盛りだくさん、どれにしようか迷うほど。いろんな会話もおいしいごちそうを囲んではずみ福祉学園の人達と楽しそうに話していました。そしてみんなのおなが一杯となったところで閉店となったのです。

## 男子 2人 保育所を巣立つ 女子 6人

♪さくらのつぼみもふくらんで♪  
のうたのように園庭の桜のつぼみもほころびはじめた、3月23日卒園式が行われました。

今年は、男児2人、女児6人の8人が卒園していきました。少々緊張気味の子どもたちも、理事長先生から一人一人修了証書を手渡

されると「ありがとうございます」と元気にお礼も言え、りっぱな姿をみせてくれました。保育所生活の思い出と小学校生活への期待と不安に胸ふくらませて子どもたちは、巣立って行きました。



## —ステーション⑥上中駅周辺—

駅のある上中町では、町の花あじさいの美しい季節がすぐそこに来ています。

古墳時代の古墳が多く、江戸時代の宿場町熊川の町並み、松木庄左衛門の逸話など、今も伝えられる町の人の誇り。

誇りと言えば、もうひとつ、日本の名水100選に選ばれた瓜割りの滝があります。伝えによれば、夏

瓜を冷やしたら、その瓜が割れてしまうほどの冷たい水が流れているとか。学園でもハイキングで、ときどき訪ねますが、きれいな水に感嘆の声が出ています。

今では、滝の周辺は名水公園として整備されています。観音霊場の天徳寺もまじかにあり、町の人たちの憩いの場所になっています。



# 海とぼくらと

精神薄弱者  
更生施設 大島福祉学園

## 作業や訓練に励む

### 4つのグループで

#### 陶芸班

メンバー 7名(職員2名)

訓練内容

作業訓練～かわらけ生産

陶芸作品生産

職場実習

学習指導～貼り絵紙芝居制作

行事計画

園外実習・買物実習・調理実習

陶芸教室・かわらけ納め

新年度の目標

共同制作作業を通じ、自主性、

創造性を引き出し、豊かな人格形成に役立たせます。(立井清隆)



#### 訓練班

メンバー 17名(職員6名)

訓練内容1.機能訓練①リズム歩行、走行、四つんばい②集中機能(腕力、腹背筋力)③砂浜歩行2.生活指導(排排便・身だしなみ)3.スキルスクリーン(のれんの玉入れ)、清掃(草とり、体育館清掃)4.学習行事計画

小遠足(梨狩り)、ハイキング、山登り、初詣、買物、会食、調理  
新年度の目標

健康(身体、精神)を維持し、機能訓練の強化を図ることで、生活や作業への芽生えや意欲につなげていきます。(新谷正広)



#### 農耕班

メンバー 16名(職員3名)

訓練内容

屋外 農耕作業(野菜作り)

屋内 内職 菓子箱加工

箸箱加工

学習 足マット製作

ティッシュBOX製作

体力づくり

行事計画

買物実習、園外実習(ハイキン



グ、工場見学)、調理実習

新年度の目標

“さあ今日も1日頑張るんだ”  
という気持ちをもってもらうため  
魅力ある場の提供、工夫のある指導に心掛けています。(村松寛繁)

#### 軽作業班

メンバー 10名(職員2名)

訓練内容

作業は、菓子箱、箸箱の成形、しやもじ袋入れ、学園の美化の貢献として園芸に取り組んでいます。

学習は、貼り絵と牛乳パック利用のはがき、しおり製作。

トリム運動の実施。

行事計画

ハイキング、施設見学実習、買物実習、調理実習。

新年度の目標

個人の能力に応じた適切な指導を進め、生きがいと潤いの創造、老化防止、障害による退行防止を課題に取り組めます。(兵頭一枝)



# くるまいす少し前進!

身体障害者療護施設  
……友愛園

## 友愛園あれこれpart 17

### 故郷訪問

家庭の事情で帰省が困難な入居者方について、毎年数名が、故郷訪問を行っています。

ここで昨年実施した米村さんの例を紹介します。

米村さんは4年前から寝たきりになり、亡くなったお母さんのお

葬式にも帰省できず、年老いたお父さんも体調がすぐれないと聞き、お父さんに一目逢いたいという思いを故郷へ寄せ実現いたしました。

故郷は大阪府豊中市の住宅密集地にあり、一泊二日の日程で出かけました。彼は日頃病院以外を外出したことがなく、豊中の故郷に帰りお父さんに逢える嬉しさに笑顔が絶えませんでした。

家に着くと仏壇にお参りして、家族全員が集っている中彼の好物である刺身と大根煮物が用意され、家族水入らずで思い出話が飛びかいなごやか

な雰囲気にも包まれていました。

入居者にとって、家族は心の支えです。故郷を訪れることにより家族との絆が深まり、大いに生活の励みになっています。

### 壬生狂言を楽しむ

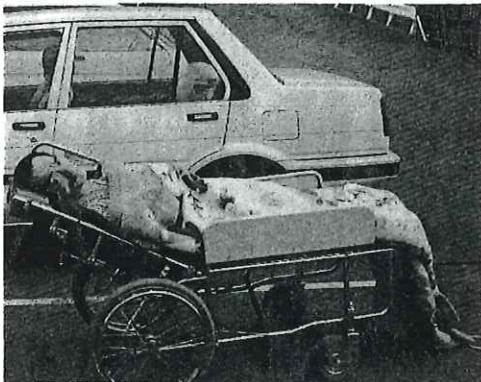
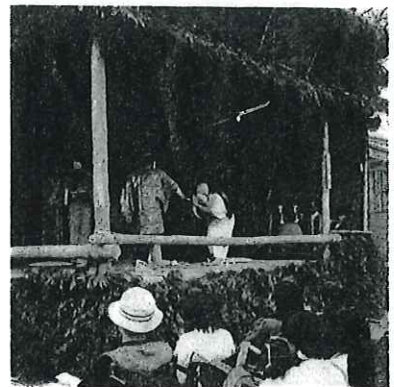
#### 小浜和久里で

4月15日小浜市和久里、西方寺境内で行われた壬生狂言を見物に行きました。

昭和59年に壬生狂言が奉納された時、見物して今回二度目。7年目に一度という壬生狂言の奉納に入居者15名が、「とろろ滑り」「狐釣り」と午前中の番組を、寒い風がふく中じっと見入っていました。

壬生狂言は笛と太鼓、鐘の音に合わせて仏の教えをわかりやすく伝える無言劇です。

この劇が、入居者の心をひきつけ、また7年後西方寺の境内を訪れる日を皆楽しみにしています。



### 骨まで愛したい 鉄っあん

福井から昭和59年に入所してきました。通称「鉄っあん」で慕われている高国鉄男さんを紹介합니다。

見た目は太い眉、鋭い目つき、重役のような体格でとてもこわそうですが、本当は小さな虫もこわいくらいナイーブ(?)な人です。

趣味はカラオケで「骨まで愛して」を18番としています。

女性を好きになると歌のように、骨まで愛してしまうという情の深いタイプです。

ただ今恋人募集中です

最近の悩みは、太りぎみで困っています。というのは太っていると外出の際、付き添いはどうしても男性職員になります。彼は寮母に付き添ってほしいのです。



# キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

## 「おめでとう」祝う会

小学部 2人・中学部 1人

去る3月17日、学園では同日嶺南養護学校小浜分校を卒業した3名を祝う会が開かれました。



福井良一君・常田定史君（小学部）、奈良信君（中学部）は、この日少し緊張した面持ちで朝はやく卒業式に出かけましたが、日頃はわんぱくな3人も、この日ばかりはきりっとした制服に身をつつみ、とてもりりしく見えました。午後の祝う会が始まると、仲間達からお祝いの言葉や花束をプレゼントされ、3人共にうれしそうな笑顔が出てきて、朝の緊張もときほぐれたようでした。

## みんな明るいぞ 1号室

私達のホームは、「みんな仲良く、助けあって」をモットーに、元気いっぱいスタートしました。



「げんこつ山」「ありさん」などの歌と手遊びが大好きで、目の表情がとても愛らしく、時々みんなを笑いの渦に誘う大変明るい川端有紀子さん。

動きはスローだが、おしゃべりが大好きで、演歌とハーモニカの得意な湯浅加津枝さん。

色白で目が大きく、笑顔のステキなちょっぴり美人型の森下千鶴さん。

いつもやさしく、小さい子の世話をするのが上手で、お部屋のリーダーとして頑張っている芝田智香さん。

以上、この新メンバーで手を取りあい、一步一步努力していこうと思います。

☆卒業を祝う会で3人が決めた目標

福井君～自分の気持ちをしっかりと話しよう。

常田君～いろいろなことに自分から参加していこう。

奈良君～いつも明るくやさしい心で、友達をたくさんつくろう。

4月に入って、福井君、常田君には中学部での学校生活が始まり、奈良君には学園作業班での新しい生活が始まっています。つらい事もたくさんあると思いますが、3人共負けないで頑張ってください。

## さわやかニューフェイス

### ♥典子さん

光ゲンジの大好きなさわやか現代っ子広瀬典子さん（13才）が、新しく学園児の仲間入りをしました。入所当時は学園生活に慣れなくて、ちょっぴりオセンチになることもありましたが、本来のやさしさとかわい笑顔で、みるみるみんなのアイドルに…この春には長かった髪をすっぱり切って心機一転、一段と明るくさわやかになりました。みなさん、よろしくお願ひします。



# お金のかけはし

(1~3月分)

## ◆大島福祉学園

### 👉奉仕・交流

高浜町モラロジーのみなさん

### 👉寄付

もち……善応寺さん  
ジャージ

…高浜町漁協婦人部さん  
全自動洗濯脱水器 (助成金)

…(財)中央競馬社会福祉財  
団さん

全自動洗濯脱水機 (配分金)

…福井県共同募金会さん

## ◆友愛園

### 👉奉仕・交流

買物ボランティアのみなさん

東野手芸店さん

猿橋統流子さん

原真英さん

岩本エイさん

中名田冠句会のみなさん

若狭地区各冠句会のみなさん

つくし座のみなさん

### 👉寄付

電動車椅子…読売新聞社本社さん

金品…浄土真宗本願寺派福井

教区若狭組合 (代表鹿

野薫証さん)

## ◆南川福祉学園

### 👉奉仕・交流

川端久代さん

城谷宏美さん

藤田千賀さん

### 👉寄付

菓子…吉田とよこさん

遊具…小浜市農協婦人部さん

餅…福井県農業協同組合中央会さん

教材・衣類…沢山さん

衣類…トリススポーツ店さん

衣類…岩本正子さん

日用品…国際ソロブチミストさん

## 編集後記

青葉若葉の季節となり、みなさんお元気ですか。

「海清」第18号をお届けします。

最近、福祉施設においても、労働時間の短縮問題が大きく取り上げられ、職員の処遇向上も図られつつあるように思います。

施設は人を処遇するという理念の仕事です。

私たちは、施設に就職して、そこでの仕事や、そこに生活している人たちの生活の実態を認識し、そこから、自分の動きを入所者の生活に合わすことが必要かと思えます。

仕事の中で、どうすることが大切なのか。どうしたら他人と協調できるようになるのか。どうしたら自分の長所をいかした仕事ができるのか。見方や考え方は、年数とともに変えなければなりません。

社会人として、いつまでも忘れてはならないのが、「素直さ」「謙虚さ」の姿勢です。



### ♥退職

次の方が退職されました。長い間ご苦勞さまでした。

沢田和江さん (大島福祉学園)

田中 薫さん (南川福祉学園)

板谷智恵美さん (大島福祉学園)

### ♥採用

新しく次の方が採用されました。

よろしく願いいたします。

山崎晴栄さん (大島福祉学園)

一瀬紀子さん (大島福祉学園)

泉本西実さん (南川福祉学園)

柿本一美さん (大島保育所)

### ♥南川福祉学園

8月下旬、当園において、小浜小学校5年生と、日帰り交流会を実施します。小浜小学校とは毎年交流を続け、当園児童にとって、夏の大きな楽しみとなっています。

### ♥大島福祉学園

夏の観光シーズンを前に、塩ヶ浜海水浴場と赤礁遊歩道の浜清掃を2回にわたって実施します。

あき缶公害は、年々ひどくなるばかり。「ちょっとしたエチケットに気をつけたいね」そんな会話を交わしながら、今年も頑張ります。



ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6

大島福祉学園内

広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185